

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |             |   |               |
|----------------|-------------|---|---------------|
| ○事業所名          | animo羽犬塚駅前  |   |               |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年 1月 22日 |   | ～ 令和7年 2月 20日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)      | 9 | (回答者数) 9      |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年 1月 22日 |   | ～ 令和7年 2月 20日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)      | 8 | (回答者数) 8      |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月1日    |   |               |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※) だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                    | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等                                    |
|---|--|---|---|
| 1 | 児童発達支援・放課後等デイサービスの土台となる明確なミッション・行動指針   | 全体ミーティングにて発達支援を行うことの意義<br>各児童への療育方針の共有等に注力している                | スタッフ数の増加による意識の低下が起きないように仕組みの確立<br>具体的な個別目標の確立     |
| 2 | 専門職(理学療法士・作業療法士等)による感覚統合×ABAの一体的療育モデル  | 理学療法士・作業療法士が中心に日頃の発達支援に活かしている<br>児童期においては保護者同伴での発達支援にも取り組んでいる | 客観的な評価指標が不十分な状態での取り組みが継続してしまっている<br>定量・定性評価の確立を急ぐ |
| 3 | ICTを活用した「LINE WORKS+TimeTree+One Drive」情報共有体制<br>詳細なタイムテーブルと役割分担によるオペレーションの標準化 | 日々の予定・タスク・連絡事項をリアルタイムで可視化<br>送迎・小集団・個別支援・記録作成などを時間帯別に明確化      | オペレーションの定着までは至っておらず、定着を確立する                       |

|   | 事業所の弱み(※) だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等      | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|---|------------------------|--|
| 1 | 室内環境の充実度                                    | カーム室の確保<br>施設の広さ       | ・カーム場所の確保やイヤーマフ・パーテーション等を利用して安心・安全な場所の確保を実施していきます。<br>・利用人数が多い日は近くの施設等を有効活用しながら、工夫しています。 |
| 2 | タイトなタイムテーブルによる職員負荷の偏在                       | 加算取得に伴う業務量増加/人員リソースの不足 | 業務量計測と“負荷平準化シフト”の再設計   |
| 3 |   |                        |  |